

授業科目名	工業科教育法1 (Method of Engineer Education 1)		
科目番号	94310(産業技術学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	2・3年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	産業技術学部
担当教員(研究室)	工藤 雄司 (非常勤講師)		
実務経験のある教員による授業科目	高等学校で20年以上の教諭経験がある教員が、その経験を活かして、工業科、情報科の教材研究や授業づくりなどの授業を行う。		
免許法施行規則に定める科目区分等	教科及び教科の指導法に関する科目(高等学校 工業)		
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領における専門教科「工業」の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ・学習指導要領をもとに各々の学習内容の指導法と、学習評価について理解している。 ・具体的な授業を想定した授業設計に必要な教材研究の方法を知り、学習指導案が作成できる。 ・原則履修科目「工業技術基礎」の内容を理解し、学習指導案が作成できる。 ・作成した学習指導案をもとに模擬授業を行うことによって、教員として必要な力を身に付ける。 		
授業概要	学習指導要領に示された専門教科「工業」の目標や内容を理解するとともに、様々な指導法を検討する。授業を想定した授業設計に必要な教材研究の方法や学習指導案の作成、学習評価について学ぶ。原則履修科目「工業技術基礎」の学習指導案を作成し、それをもとに模擬授業を行うことによって教員として必要な力を身に付ける。		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修 授業前に、事前配布資料・参考書に目を通しておくこと (2H) 事後学修 授業後に、学修内容をノートに丁寧にまとめること (2H)		
授業計画	第1回: 工業技術教育の理念と社会的役割について 第2回: 学習指導要領における専門教科「工業」について 第3回: 専門教科「工業」の各学科の科目構成と学習内容について 第4回: 科目「工業技術基礎」の学習内容と展開について 第5回: 工業高等学校の主な学科の教育課程の編成例について 第6回: 工業高等学校における授業の展開と学習評価について 第7回: 黎明期から現代への工業技術教育のあゆみについて 第8回: 工業技術教育における諸外国の影響について 第9回: 専門教科「工業」における教育メディアの活用について 第10回: 工業高等学校の施設・設備について 第11回: 教育実習の目標と内容について 第12回: 科目「工業技術基礎」の年間指導計画の作成と学習指導案について 第13回: 科目「工業技術基礎」の学習指導案の作成と学習評価について 第14回: 模擬授業の実施・評価 第15回: 模擬授業の実施と評価のまとめ 期末試験		
テキスト	教職課程研究会編 工業科・技術科教育法 実教出版		

参考書・参考資料等	高等学校学習指導要領 高等学校学習指導要領解説 工業編
成績評価方法	レポート・課題・指導案等:30%、試験:70%で評価する。
成績評価基準	A+:到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A:到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B:到達目標を達成し、良好な成績を修めている C:到達目標を最低限達成している。 D:到達目標に達していない